

令和8年第1回美浜町議会臨時会

(令和8年2月6日開議)

町長あいさつ(提案理由の説明)

本日ここに、令和8年第1回美浜町議会臨時会を開催しましたところ、議員各位には公私ともご多用とは存じますが、お繰り合わせご出席を賜り厚く御礼申し上げます。

今議会が、任期最後の議会になろうかと存じますが、第18期美浜町議会議員として、大所高所から町政の発展と町民福祉向上のため、多大なるご尽力を賜りましたことに対し、敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げる次第であります。

このところ雪模様の天候が続きましたが、先月は今季最強・最長の寒波が到来し、日本海西部に発生したJPCZの影響により嶺南東部を中心に大雪に見舞われました。

当日は、国道27号や舞若道の通行止め、小浜線の運休をはじめ、小中学校の臨時休校など予防的措置とともに、町民の皆さんや除雪事業者等のご理解、ご尽力により、大きな混乱もなく影響を最小限に留めることができました。

引き続き、自然災害に対する予防的措置や住民サービスの確保に努めてまいります。

さて、この度、福井県知事選挙が執行され、激戦を制した石田嵩人氏が当選、第21代福井県知事に就任されました。心よりお祝いを申し上げますとともに、県政の発展とご活躍をお祈り申し上げます次第であります。

また、衆議院選挙が終盤を迎えており、3月には町議会選挙が行われるなど、国政や県政、町政の将来に繋がる重要な選挙が続いています。

本町といたしましては、新たな知事や議員各位に町の現状と課題をしっかりと理解していただけるよう努め、支援と協力を得ながら、まちづくりを進めたいと考えています。

昨年末、美浜町が交通関係優良団体のグリーン経営部門において、国土交通大臣表彰を受賞いたしました。

これは、全国で初めて再生可能エネルギーにより航行する電池推進遊覧船を開発し、自然豊かな三方五湖で環境に配慮した持続可能な観光に取り組んできた点が高く評価されたものであります。

脱炭素社会の実現に資するエネルギーと共生するまちづくり、豊かな自然と景観を活かしたまちづくりを進めている本町にとって、誇りであり大変名誉なことでもあります。

改めて、研究開発や運航にご尽力をいただきました皆様に感謝申し上げる次第であります。

それでは、開会にあたり、町政運営に関する所信の一端を申し述べますとともに、今回ご提案いたします議案等の概要についてご説明申し上げます。

はじめに、第六次美浜町総合振興計画について申し上げます。

先般、計画審議会の鳥羽会長より計画案の答申をいただきました。諮問から足掛け2年、審議会や検討会議、アンケート調査等を通して、多くの町民の声や熱い想いが盛り込まれているとの説明を受けました。

また、高校生や子どもサミットを通して、子どもたちの想いが反映されるなど、協働のまちづくりに相応しい意義深い計画になったと受け止めています。

改めて、計画の策定にご尽力をいただいた全ての皆様に厚く御礼を申し上げます。

今後、まちづくりの指針となる最上位計画として、議決を得た後、広報等により町民の皆様への周知と共有を図るとともに、関連する施策に浸透、反映させることで、協働のまちづくりを機動的に進めていきたいと考えています。

次に、観光施策について申し上げます。

北陸新幹線敦賀開業から、まもなく2年を迎えますが、令和7年の観光入込客数は約140万人となり、前年比約4%増、開業前に比べ23%増となっています。

開業効果が続いていると受け止めています。依然として地域や施設間に濃淡があること、観光消費に直結する宿泊者数は目標の7割程度、5万5千人程度と伸び悩んでいることから、こうした課題を踏まえ、施策議論を進めてまいりました。

観光は、消費行動を通じて農林水産業や商工業の振興など地域経済、ひいては町の活性化に大きな波及効果をもたらすことから、現在策定中の第2次観光振興計画に基づき、周遊滞在型観光の推進を柱とする観光施策を加速させてまいります。

次に、原子力政策について申し上げます。

第7次エネルギー基本計画の策定を契機に原子力の最大限活用など新たな原子力政策がスタートし、ほぼ一年が経過いたしました。この間、我々が求めてきた地域振興や防災対策の実現に向けた道筋が大きく拓けてまいりました。

長年の悲願、美浜・高島避難道路が、2月に国や県により整備路線として「共創会議の将来像」に位置付けられ、現在、調査事業が進められています。引き続き、本町の最重要課題として早期着工に向けて強力に活動を展開してまいります。

また、将来像の実現に資する財源として拠出金制度が創設されたところであり、こうした仕組みを活用し、本町の地域振興の実現に注力してまいります。

現在、美浜発電所後継機の可能性調査が進められていますが、地元の理解と協力、信頼関係、安全・安心の最大限の確保、地域振興等を基軸に、詳細調査に至る過程を注視してまいります。

次に、防災対策について申し上げます。

地球温暖化の影響により、全国各地で豪雨や土砂災害が頻発しており、必ずやってくるとの危機感を持って防災・減災対策に取り組んでいるところであります。

また、発災に備え、被災者や避難者の食料や生活必需品の確保、大手宅配事業者との連携協力による搬送体制の強化、避難所の防寒対策や給水車、トイレトラックの導入など避難生活の環境整備に努めてまいります。

この秋、実施予定の防災訓練では、新たにドローンを活用した迅速な情報収集手段として、その可能性と効果を検証したいと考えています。

また、消防団や防災士会との連携による自主防災組織の強化、消防団の器具庫の更新や空調設備の設置支援など活動環境の向上に努めてまいります。

引き続き、有事に備えた防災・減災対策の充実強化はもとより、地域防災力の強化と防災意識の醸成に取り組んでまいります。

次に、人づくり施策について申し上げます。

昨年末、麻生集落出身の小川静枝さんから、彌美神社の神事「王の舞」を題材とした日本画を寄贈いただき、文化の拠点「なびあす」に展示させていただきました。

この作品は、長年にわたり故郷への想いを抱き続け、2年の歳月をかけて描かれた大作であり、地域愛や伝統文化に対する敬意と誇りを感じさせる存在感があります。

改めて、小川氏の篤志に敬意を表するとともに感謝を申し上げたいと思います。

また、先月21日、ふるさと美浜元気フォーラムが開催されました。町の将来を担う子どもたちが、生まれ育った地域に愛着を持ち、学びと挑戦、地域や人との繋がりを通して成長していく姿を目の当たりにし、心強く感じたところであります。

美浜独自の人づくりにかかる意義ある取り組みとして、内外より高い注目と評価を得ており、指導いただいた先生方や地域の皆様に厚く御礼を申し上げます。

こうした学校教育と、「にぎわいゾーン」での放課後教室サンや学びコミュニティkaiなど社会教育を有機的に連携し深化させる、教育コーディネーターを配置し、次代を担う子どもたちを育む環境を充実してまいりたいと考えています。

次に、人口減少対策等について申し上げます。

美浜町人口ビジョンに基づく、2040年の目標人口7,500人を達成するため、若者や子育て世代の移住定住に資する、子ども子育て施策の充実、安全・安心な生活環境の整備など人口減少対策に取り組んでいるところであります。

とりわけ、移住・定住対策として、新年度から着手する美浜中学校前の分譲住宅地に

は、緑豊かな自然を配し、スマートタウン機能を付加させることで、若者や子育て世代にとって快適で魅力ある分譲地となるよう整備を進めてまいります。

次に、子ども・子育て施策について、申し上げます。

本町では、子どもたちや保護者の声を踏まえ、町の総合振興計画並びに、こども計画に基づき、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、子ども・子育て施策を進めているところであります。

これまで、妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援や、官民協働による子ども放課後教室の充実強化など、居場所づくりに取り組んでまいりました。

現在、「きいぱす」でのデジタル遊具、「はあとぴあ」での幼児向け遊具をはじめとする屋内型遊び場の整備を進めており、「きいぱす」では令和9年春、「はあとぴあ」では令和8年秋のオープンを目指しています。

これらの施設は、子どもたちに限らず幅広い世代の交流と憩いの場としての機能も備えており、多くの方々に活用いただきたいと考えています。

こうした施策を進めることで、こどもや若者、子育て世代の皆さんに、こども計画の基本理念である「地域の愛に包まれ、将来にわたり こども・若者が幸せに成長できるまち みはま」を実感できる住みよいまちづくりを進めてまいります。

次に、健康福祉政策について申し上げます。

美浜町デイサービスセンターでは、多くの皆様に活用いただける施設を目指し、施設の長寿命化対策と併せ、利用者ニーズに即したサービスが提供できるよう、ホールの改修やリハビリ設備を充実強化するための調査設計業務に着手いたします。

また、町では、高齢者の生きがいづくりや、社会参加はもとより健康づくり意識醸成の一環として「健康支援あいあいアプリ」の普及とその活用につながる施策を進めてまいりました。

現在、対象者の約2割、1,515人が登録、高齢者の地域貢献活動や健康づくり活動

には、36団体の参画があり、高齢者の社会参加、地域における助け合いや支え合いが進むなど、成果が広がっていることから、更なる普及啓発に努めてまいります。

次に、地域交通の充実について申し上げます。

令和5年から実証運行中の「チョイソコみはま」は、その成果を踏まえ、来年度から本格運行へ移行いたします。

今年度の利用者数は、1万8千人余りとなる見込みで、令和4年度のコミュニティバス利用者数と比べ約2.2倍に増加するなど、地域の足として定着しつつあり、多くの方々から高い評価をいただいています。

今後は乗合率の向上や運行経費の縮減といった課題に取り組みながら、更なる利便性の向上と持続可能な公共交通の実現に向け、取り組んでまいります。

また、現在、東地区で運行中の公共ライドシェアについては、美しい美浜の海岸線を走るイメージから、「美浜ブルーライン」と名付け、車両も一新、地域に根ざした交通手段として更なる利用促進に取り組んでまいります。

次に、スポーツの振興によるまちづくりについて申し上げます。

本町のスポーツ振興の中核施設である総合体育館では、長寿命化対策と併せ、利用者に配慮した施設の機能拡充や魅力度向上を目的とする、改修事業を計画的に実施することとしています。

令和8年度は、空調や照明などの実施設計を行い、翌年度から空調設備や床、外壁など順次改修工事に着手することとしており、多くの町民が集い、スポーツを通して競技力の向上や振興、交流人口の拡大に繋がりたいと考えています。

次に、「第38回美浜・五木ひろしふるさとマラソン」について申し上げます。

本大会は、5月10日、母の日に開催する予定で、1月からエントリーの受付を開始したところであります。五木さんをはじめ、実行委員会や関係者の皆様のご支援とご協力をいただきながら、より良い大会となるよう努めてまいります。

次に、「ローイングの町美浜」の推進について申し上げます。

2千メートルのコース延伸工事の完成を契機に、令和9年度の全日本社会人選手権大会の誘致を目指し、5月下旬に関西圏大学チームによるエイト艇でのプレ大会を実施します。

関電ローイングセンターみはまでのエイト艇による初の大会となる訳ですが、ローイング競技の花形、最速の種目であり、驚異的な加速と疾走感が注目の大会になるものと思います。

関係団体とともに、本大会に向けてハード・ソフト両面から運営体制を検証するとともに、ローイングの町美浜のPRと、合宿誘致に繋がりたいと考えています。

それでは、本日ご提案いたしました各議案につきまして、その概要と提案理由をご説明申し上げます。

議案第1号につきましては、衆議院の解散に伴い、衆議院議員総選挙の執行経費を緊急に補正する必要が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がなかったため、令和7年度美浜町一般会計補正予算(第5号)を1月23日に専決処分いたしましたので、これを報告し議会の承認を求めるものであります。

議案第2号 令和8年度美浜町一般会計予算につきまして、予算総額は88億597万8千円となり前年度に比べ4,209万9千円の増額となっています。

各款の主なものといたしまして、総務費では、人づくり・空間づくり・コンテンツづくりの推進体制の強化を目的とする みはまシナプスプロジェクトに5,828万9千円を、ふるさと納税の推進を図る美浜ふるさと納税推進事業に1億6,413万3千円を計上いたしました。

民生費では、「きいぱす」や「はあとびあ」の屋内に整備する こどものあそび場づくり事業に3億8,318万4千円を、「ほほえみ」の利用環境向上に向けた大規模改修工事実施設計を行うデイサービスセンター改修事業に960万円を計上いたしました。

衛生費では、施設の老朽化に伴う改修工事に向けた美浜斎苑整備事業に4,175万4千円を計上いたしました。

農林水産業費では、担い手農家を確保、育成するための新規就農支援事業に1,315万6千円を、森づくりプランに基づき、川際の危険木の伐採及び林道・作業道を整備するわかさ美浜町森づくり推進事業に626万3千円を計上いたしました。

商工費では、地域資源を活かした魅力アップイベントを開催する若狭みはま魅力アップ事業に2,166万6千円を、体験観光コンテンツの充実やSNSを活用した情報発信を行う若狭みはま魅力発信事業に3,480万3千円を、事業者の搬送費を支援する植物工場立地促進事業に3,017万3千円を計上いたしました。

土木費では、町道の維持補修工事を行う道路維持事業に1億238万1千円を、美浜中央小学校等への通学路を整備する町道川東42号線道路改良事業に2,572万9千円を計上いたしました。

消防費では、消防団活動の拠点となる消防器具庫の建設及び待機施設の空調設備設置を支援する消防施設整備事業に1,015万8千円を計上しました。

教育費では、学校教育と社会教育の連携を強化するため、ふるさと美浜元気フォーラム推進事業に727万1千円を、施設の機能維持や利用環境の向上を目的とする社会体育施設改修事業に2,344万3千円を計上いたしました。

一方、歳入予算につきましては、町税が40億8,849万3千円、国庫支出金15億4,838万2千円、県支出金12億866万5千円、繰入金9億949万4千円、諸収入で1億6,254万6千円などをそれぞれ充当し、収支の均衡を図った次第であります。

次に、議案第3号から議案第10号までの8議案は、令和8年度の各特別会計及び企業会計の予算であります。

これら各特別会計及び企業会計は、それぞれの設置目的に沿って事業の運営経費や建設事業費等の所要額を一般会計に準じて計上したものであり、診療所事業特別会計など6特別会計の予算総額は25億8,899万8千円、また、上水道事業会計と下水道事業会計の2企業会計の予算額は21億1,649万5千円であります。

各会計の予算総額等を申し上げますと、

議案第3号 診療所事業特別会計では、機械借上料の増加や給料等人件費の増加により対前年度比844万7千円増の1億3,072万1千円を計上いたしました。

議案第4号 国民健康保険事業特別会計では、保険給付費及び国民健康保険事業費納付金の減少により、対前年度比1,315万1千円減の11億715万円を計上いたしました。

議案第5号 後期高齢者医療事業特別会計では、後期高齢者医療広域連合納付金の増加により、対前年度比3,321万円増の1億9,868万3千円を計上いたしました。

議案第6号 介護保険事業特別会計では、介護保険システム利用料の増加や介護保険事業計画策定に伴う委託料の増加により、対前年度比2,644万7千円増の11億4,161万1千円を計上いたしました。

議案第7号 産業団地事業特別会計では、企業誘致促進費及び発電施設運営費の減により対前年度比4万3千円減の232万2千円を計上いたしました。

議案第8号 住宅団地事業特別会計では、住宅団地整備費及び住宅団地分譲促進費の減額により、対前年度比951万9千円減の851万1千円を計上いたしました。

議案第9号 上水道事業会計につきましては、配水及び給水費の修繕費の増加及び配水管布設替工事等の増加に伴う建設改良費の増額により、対前年度比

2億9,173万1千円増の11億617万円を計上いたしました。

議案第10号 下水道事業会計につきましては、処理場施設建設費の減額等により、対前年度比1億8,359万円減の10億1,032万5千円を計上いたしました。

議案第11号 美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定につきましては、福井県国民健康保険運営方針に基づき、国民健康保険税の税率に係る規定を整備したく、本案を提出した次第であります。

議案第12号 美浜町こどものあそび場整備事業屋内あそび場遊具等設計・整備工事請負変更契約につきましては、令和7年第2回臨時会で議決された同契約について契約変更を締結したく、議会の議決を求めるものであります。

議案第13号 財産の取得につきましては、スマートタウン推進事業において事業用地を購入したく、議会の議決を求めるものであります。

議案第14号 第六次美浜町総合振興計画基本構想及び基本計画の策定につきましては、本計画を策定したく、議会の議決を求めるものであります。

以上、付議案件の概要について申し上げましたが、何卒慎重なご審議の上、妥当なご決議を賜りますようお願い申し上げます、甚だ簡単ではございますが提案理由の説明とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。